

家庭・学校・地域が一体となって取り組む鈴鹿の教育

# 鈴鹿型 コミュニティ・スクール



鈴鹿市では、地域の皆さんと連携・協働した教育環境づくりを進めてきました。

平成23年3月には、「つなぎ つながる 鈴鹿の教育」を基本理念とする「鈴鹿市教育振興基本計画」を策定し、これからも大切にしていける施策である「鈴鹿五策」の中でも「地域ぐるみの教育の推進」を、最も重要な施策と位置付けています。

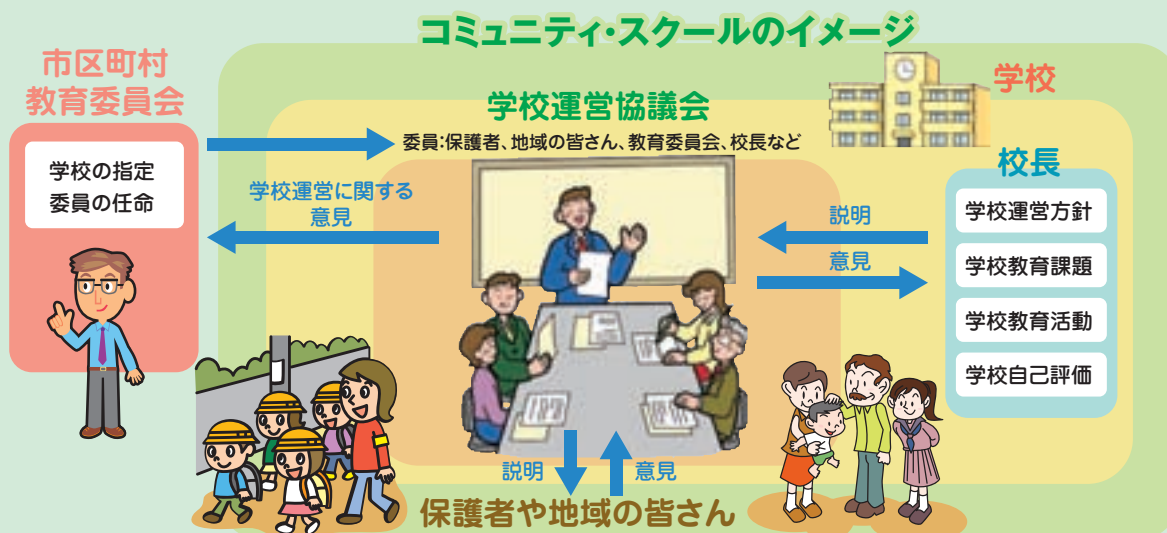
そこで、平成23年4月1日から市内すべての小中学校を「コミュニティ・スクール」に指定し、これまで以上に家庭・学校・地域が一体となって子どもの教育に取り組む学校づくりを進めています。

今回の特集は、鈴鹿市ならではの「鈴鹿型コミュニティ・スクール」について紹介します。

## 「コミュニティ・スクール」って何？

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんが「どんな学校を創っていくのか。どんな子どもを育てていくのか」といったことを共に考え、知恵を出し合い、地域の大人みんなで子どもを育てる学校づくりのしくみです。

保護者や地域の皆さんの代表者で構成する「学校運営協議会」を各学校に設置し、地域の声を生かしたより良い教育の実現をめざします。これにより、保護者や地域の皆さんの教育活動への参加が広がるとともに、子どもの教育を中心とした新たな地域コミュニティの形成が期待されます。



### 学校運営協議会

「学校運営協議会」は、これからの学校づくりの中核となります

学校運営協議会は、国で「実質的で活発な討議を通じて学校運営協議会としての一定の方向性を決定できる程度の人数であること」と示されていることから、おおむね10人程度で構成します。

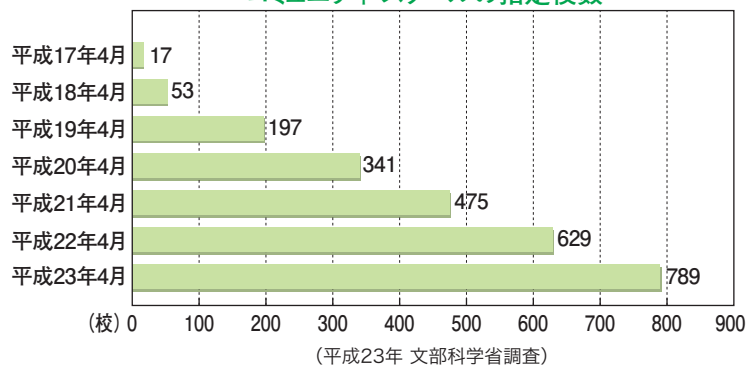
委員は学校長の推薦により教育委員会が任命します。

- ◆年度初めの学校運営協議会では、学校運営方針について共通理解を深めます。
- ◆学校運営協議会では、毎回学校や地域の実態に応じた教育課題について委員相互で「熟議」を行い、改善策などを検討します。
- ◆年度末の学校運営協議会では、学校の取り組みについての点検・評価活動を行います。

コミュニティ・スクールは、国では平成16年9月に制度化されています。

平成23年4月1日時点で、32都府県の789校が指定されています。

コミュニティ・スクールの指定校数



設置するすべての小中学校をコミュニティ・スクールに指定している教育委員会  
平成23年4月1日時点 全10市町村

- ① 島根県出雲市 (49校)
- ② 三重県鈴鹿市 (40校)
- ③ 東京都三鷹市 (22校)
- ④ 福岡県春日市 (18校)
- ⑤ 山口県柳井市 (16校)
- ⑥ 熊本県氷川町 (5校)
- ⑦ 新潟県聖籠町 (4校)
- ⑧ 福島県大玉村 (3校)
- ⑨ 岡山県早島町 (2校)
- ⑩ 熊本県産山村 (2校)

鈴鹿市は、まちぐるみでコミュニティ・スクールを推進するという、全国でも先進的な取り組みを行っています。

(平成23年 文部科学省調査)